

令和5年8月22日

報道機関 各位



新潟県小千谷市役所
小千谷市城内2丁目7番5号

「おぢやつつみ ^{ウィズ} WITH ^{ウィッシュ} WISH.」を実施

小千谷市では、進学で親元を離れ、夢の実現に向け頑張る小千谷の学生を応援し、小千谷とのつながりや地元に対する愛着を深めるきっかけとするため、市外に住む市内出身の学生に小千谷産品を送付する「おぢやつつみ WITH WISH.」を実施し、学生からの申込の受付を開始します。

この事業を官民が連携して実施することにより、学生が小千谷とつながり続ける仕組みを構築し、**将来的なUターン就職の増加、強固な関係人口の増加**につなげていきます。

◆目的／1. 郷土愛の醸成 2. 就労支援 3. 強固な関係人口増 4. 食育
5. 保護者負担軽減

◆対象者／市内出身者で高校卒業後、実家を出て暮らしている市外在住の学生
(大学・短期大学・高等専門学校・専修学校など)

◆募集人数／500人

◆申込方法／下記二次元コードから申込み

◆申込期間／8月25日(金)～9月15日(金)

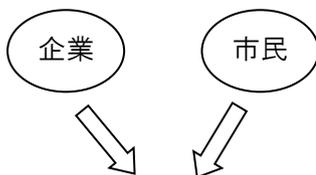
◆お届け品／米・食品などの小千谷産品

◆発送時期／10月中旬予定(年2回程度継続)

◆その他

○現在、小千谷商工会議所より協力をいただき、市内事業所に協賛金及び小千谷産品の提供依頼を行っています。

○名称及び小千谷産品を送る箱のデザインは、小千谷商工会議所青年部の皆さまからアイデアを持ち寄っていただきました。



おぢやつつみ
WITH WISH.



市外在住の
小千谷出身の学生



【申込二次元コード】

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市商工振興課地域産業係 担当／岩田・小川・大矢
TEL : 0258-83-3556 FAX : 0258-83-2789 E-mail : syoko@city.ojiya.niigata.jp

令和5年8月22日

報道機関 各位

新潟県小千谷市役所
小千谷市城内2丁目7番5号**令和5年10月1日****子ども医療費の無償化及び妊産婦医療費助成方法の変更を実施**

小千谷市では、子育て支援策の一環として、令和5年10月診療分から子ども医療費の無償化を実施し、自己負担の全額助成を開始します。

また、4月1日から医療費の無償化を開始している妊産婦医療費助成について、10月診療分から助成方法を受給者証方式に変更します。

□10月診療分から子ども医療費の無償化**■助成対象者**

1. 小千谷市に住民登録がある0歳から18歳（18歳を迎えた最初の3月31日）までの子ども
2. ひとり親医療費助成受給者（県親）のうち0歳から18歳までの子ども
3. 重度心身障害者医療費受給者（県障）のうち0歳から18歳までの子ども

■対象医療費

医療機関等における保険診療分（通院、入院、調剤、指定訪問看護）

※保険適用外（健康診断、予防接種、入院時差額ベット代など）は実費

■その他

- ・受給対象者には9月末までに、無償化に対応した新しい受給者証を郵送
- ・申請不要

□10月診療分から妊産婦医療費助成方法を変更**■助成方法**

- ・県内の医療機関受診時に、窓口で保険証とともに**受給者証を提示**。自己負担の支払が不要となります。
- ・県外で受診した場合は、これまでと同様に償還払いとなります。

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市健康・子育て応援課子育て応援係 担当／高橋・星野
TEL：0258-83-3640 FAX：0258-82-8964 E-mail：kenko-ko@city.ojiya.niigata.jp

令和5年8月22日

報道機関 各位



新潟県小千谷市役所
小千谷市城内2丁目7番5号

小千谷市焼却処理施設基本構想を策定しました

現在のごみ焼却処理施設「時水清掃工場」の老朽化等に伴い、約10年後に「新たな焼却処理施設の供用開始を目指す（処理施設を新設する）」こととした次期焼却処理施設整備に係る「焼却処理施設基本構想」を策定しました。

■基本構想策定の背景

小千谷市が運転管理している焼却処理施設「時水清掃工場」は、稼働開始後30年以上が経過し不具合などが多くなってきており、次期焼却処理施設整備に係る検討が喫緊の課題でした。

そこで、今後の焼却ごみ処理のあり方等を検討・評価・整理し、焼却処理施設を新設することを踏まえた「焼却処理施設基本構想」を令和5年5月に策定しました。

■焼却処理施設の新設を踏まえた基本構想策定にいたるまでの経過

次の4つの焼却ごみの処理運営方法について、内容を評価・整理し、市役所内に設置した「焼却処理施設基本構想策定検討委員会」において複数回にわたり検討しました。

○焼却ごみの処理運営方法

- ①既存処理施設の延命化、②処理施設の新設、③-1 ごみ広域処理（周辺自治体への処理委託）、③-2 ごみ広域処理（周辺自治体との共同処理）

検討の結果、収集運搬費や維持管理費が安価に抑えることができるなど、総合的に最も優れていると評価された「処理施設の新設」を採用した基本構想を策定することにしました。

■今後のスケジュール

	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
一般廃棄物処理基本計画											
建設候補地選定											
循環型社会形成推進地域計画											
建設用地測量・地質調査											
土地の形質変更手続き											
焼却処理施設整備基本計画											
焼却処理施設整備基本設計											
生活環境影響調査											
発注支援業務											
都市計画決定											
焼却処理施設建設工事											
供用開始											

※あくまで最短のスケジュールであり、状況によっては、スケジュールが遅れる可能性があります。

■今後の検討課題

今後は焼却処理施設を新設するために必要な整備を計画的に進めていきます。検討する課題は次のとおりです。

①建設候補地の選定及び対象となる地域住民との協議

令和16年度より新たな焼却処理施設にて供用開始するためには、令和6年度末までに建設候補地を絞り込む必要があります。建設候補地の選定にあたっては、対象となる地域住民と十分な協議を重ねることにより、建設に対する合意を得ることが重要となります。

②施設整備規模の検討

今後のごみ減量化対策や資源化率の向上により、燃やすごみの排出量が減少することも考えられ、焼却処理施設整備基本設計時に施設整備規模の最終確認が必要となります。

③廃棄物を処理する際に発生する熱エネルギーの効率的な利活用方法

循環型社会形成を推進するために必要不可欠な要件となります。施設内にて給湯及び冷暖房の熱源として活用するほか、施設外での利活用方法も検討していきます。

新焼却処理施設完成までは、現在の時水清掃工場の稼働を継続していくため、引き続き、地元住民の理解と協力が必要となります。

完成までの間、節目ごとに市民のみなさんへの説明を丁寧に行っていきます。

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市環境共生課 担当／山川・田邊

TEL：0258-83-3566 FAX：0258-82-8664 E-mail：kankyo@city.ojiya.niigata.jp

令和5年8月22日

報道機関 各位

新潟県小千谷市役所
小千谷市城内2丁目7番5号

バリアフリー化のための「まち歩き点検」を実施

今年度、来年度と2年をかけて、誰もが使いやすい公共交通を実現するための「移動等円滑化促進方針(マスタープラン)」を策定します。

策定に先立ち、交通事業者や障がい者など当事者による市内まち歩き点検を実施します。

■まち歩き点検

日時:9月6日(水) 午後1時30分～4時20分

コース:西小千谷地区 市役所～サンプラザ通り～図書館等複合施設付近～本町2丁目

東小千谷地区 小千谷駅～東大通り～旭橋東詰

参加者:小千谷市移動等円滑化促進協議会委員、障がい者団体から推薦いただいた参加者
道路管理者、JR 東日本新潟支社、小千谷警察署交通課

■移動等円滑化促進方針(マスタープラン)を策定する意義

平成18年に施行されたバリアフリー法(高齢者、障害者等の移動等円滑化の促進に関する法律)では、市町村は、旅客施設の周辺地区など、高齢者等が利用する施設が集まった地区のバリアフリー化を促進する方針(マスタープラン)を作成することができるようになりました。

方針を作成することにより、個々の施設のバリアフリー化だけではなく、建築物や道路等の連続性を確保した「面的・一体的なバリアフリー化」を推進し、誰もが暮らしやすいまちづくりにつながります。

小千谷市では、JR 小千谷駅周辺のバリアフリー化などを目指し、協議会を立ち上げ、方針を策定します。

策定にあたり、実際にまちを歩きながら旅客施設や生活関連経路等におけるバリア(障壁)を確認し、バリアフリー化に関する課題を把握、共有することを目的として「まち歩き点検」を実施します。

○タイムスケジュール

午後1時30分 小千谷市役所集合、当日の流れや注意点を説明(15分)

午後1時45分 まち歩き点検(70分、途中休憩あり)

市役所へ移動

午後3時20分 意見交換(40分)

午後4時 成果発表～総括(20分)

午後4時20分 解散

○点検する内容

小千谷駅:入口、階段、トイレ、プラットホーム、改札、券売機 など

道路:幅員、舗装、勾配、歩車分離の状況 など

その他:点字ブロック、バス停、案内標識、トイレ、休憩施設 など

本件に関するお問い合わせ先/小千谷市にぎわい交流課 担当/安達・高橋

TEL:0258-83-3512 FAX:0258-83-0871 E-mail:kanko@city.ojiya.niigata.jp

令和5年8月22日

報道機関 各位

新潟県小千谷市役所
小千谷市城内2丁目7番5号**「片貝まつり（浅原神社秋季例大祭奉納大煙火）」を開催**

世界最大級の四尺玉花火で有名な「片貝まつり花火大会（浅原神社秋季例大祭奉納大煙火）」が、9月9日（土）、10日（日）に開催されます。

■大型花火打上げ予定時刻（雨天決行）

- ◆正四尺玉 両日とも午後10時
- ◆正三尺玉 9日：午後8時30分、9時、9時30分
10日：午後2時（真昼の三尺玉）、9時、
午後9時30分

※観覧場所：浅原神社（片貝町6548）奥

**■シャトルバス（9日のみ）**

- ◆運行経路 小千谷市総合体育館～白山運動公園～西部工業団地～(株)片貝製作所
- ◆運行時間 行き：午後4時～7時30分随時運行
帰り：午後8時30分～10時45分随時運行
- ◆料金 片道500円（小学生以上）
- ◆シャトルバス利用者駐車場（合計約1,070台）
 - 小千谷市総合体育館（約300台）
 - 白山運動公園（約400台）
 - 西部工業団地

☆(株)第一測範製作所（約200台）☆(株)木村食品（約70台）

☆(株)越後製菓小千谷工場（約100台）

※10日は運行がありません。乗り合わせでご来場ください。

※上記の駐車場は、10日は臨時無料駐車場として利用可能です。

※花火大会の詳細および駐車場については片貝町煙火協会 84-3900 へお問い合わせください。

**■テレビ・ラジオ生放送****◆BSテレビ生放送**

放送日：9月9日（土）午後7時～10時15分

放送局：BSフジ

◆ケーブルテレビ生放送

放送日：9月9日（土）・10日（日）午後7時～10時20分頃（花火終了まで）

放送局：NCT

◆FMラジオ生放送

放送日：9月9日（土）・10日（日）午後7時～10時20分頃（花火終了まで）

放送局：FMながおか（80.7メガヘルツ）

※スマホ無料アプリ「Voicy」でFMながおかの生放送を聴取できます。

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市にぎわい交流課 担当／近藤・山崎
TEL：0258-83-3512 FAX：0258-83-0871 E-mail：kanko@city.ojiya.niigata.jp

報道機関 各位



新潟県小千谷市役所

小千谷市城内2丁目7番5号

へぎそば 100年フード認定記念 にしもない 「西馬音内そばと小千谷そばを楽しむ会」を開催

200年以上にも上る歴史があると言われる小千谷そば。そんな古くから親しまれてきた小千谷の【へぎそば】が文化庁の100年フードに認定されたことを記念し、昨年からの交流の始まった布海苔つなぎの秋田県雄勝郡羽後町のご当地そば【西馬音内そば】との交流イベントを開催します。

- ◆日時／10月25日（水）午後6時～
- ◆会場／総合産業会館サンプラザ 3階大ホール（城内1-8-25）
- ◆定員／100名（9月19日より右記の二次元コードで受付開始）
- ◆参加費／4,000円
- ◆内容



申込二次元コード

▽パネルディスカッション

「布海苔が繋いだご当地そば～西馬音内そばと小千谷そばの歴史を紐解く」

パネラー：西馬音内そば協会、小千谷伝 麵有志の會、小千谷織物同業協同組合

▽そば前を楽しむ

そば通に親しまれる粋な文化「そば前」。羽後町と小千谷市の地酒と料理を提供

▽西馬音内そばと小千谷そばの食べ比べ 5店舗

羽後町：弥助そば（西馬音内そば発祥店舗）

小千谷市：わたや、角屋、和田、まるいち

▽西馬音内盆踊り

昨年、ユネスコ無形文化遺産に登録された「風流踊り」の一つ「西馬音内盆踊り」

を披露

- 共催／小千谷伝 麵有志の會（100年フード認定団体）、小千谷そばの会
- 協賛／（一財）小千谷市産業開発センター、小千谷商工会議所、新潟銘醸株式会社、高の井酒造株式会社
- 後援／小千谷市、小千谷織物同業協同組合

本件に関するお問合せ先／

小千谷市商工振興課 担当／岩田、小川

TEL：0258-83-3556 FAX：0258-83-2789 E-mail：syoko@city.ojiya.niigata.jp

小千谷伝 麵有志の會 担当／宮山（角屋）、上村（事務局）

TEL：0258-83-2234 FAX：0258-82-7136（角屋） E-mail：ojiyanoodlesfes@gmail.com（事務局）

令和5年8月22日

報道機関 各位



新潟県小千谷市役所
小千谷市城内2丁目7番5号

令和5年度「おぢや健康講演会」を開催

おおたわ史絵さん（総合内科専門医 法務省矯正局医師）を講師にお招きし、「病気になる人 ならない人」をテーマに講演会を開催します。

- ◆日 時／10月8日(日) 午後2時～3時30分
- ◆会 場／市民会館 大ホール（土川1-3-3）
- ◆内 容／『病気になる人 ならない人』

寝不足、ストレス、偏った食事・・・全ての病気には何らかの原因が存在します。生活習慣を改善するための誰でも簡単にできる健康のちょっとしたコツを学び、病気になりにくい体質を目指しましょう。

- ◆講 師／おおたわ 史絵さん（総合内科専門医 法務省矯正局医師）
- ◆定 員／360人 ※入場無料（要事前申込）
- ◆申込受付開始／8月25日(金)
- ◆申込方法／電話または右記二次元コードから申込み
- ◆その他



【申込二次元コード】

- 健康測定体験コーナー（午後1時～1時45分、3時30分～4時）
血管年齢測定、握力測定、ベジチェック（野菜摂取充足度測定）
大腸がんクイズラリー

○当日は、You Tube「小千谷市公式チャンネル」でライブ配信を行います。

- ◆主 催／おぢや健康づくりイベント実行委員会

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市健康・子育て応援課 担当／阿部・林
(おぢや健康づくりイベント実行委員会事務局)

TEL : 0258-83-3640 FAX : 0258-82-8964 E-mail : kenko-kz@city.ojiya.niigata.jp

令和5年8月22日

報道機関 各位



新潟県小千谷市役所
小千谷市城内2丁目7番5号

楽しく歩いて健康増進！

「第44回小千谷トリム・ウォーキング大会」を開催

スポーツの秋！さわやかな秋の風を楽しみながら歩きませんか。「謎とき」にチャレンジしながらウォーキングができる12km・8kmコースと、お子さんと一緒にアトラクションゲームを楽しめるわくわくコースがあります。

- ◆期 日 10月9日（スポーツの日）
- ◆参加資格 どなたでも参加できます。
- ◆コース・定員・スタート・ゴールなど

コース	定員 (申込み先着順)	スタート ゴール	スタート受付・ スタート時間※	ゴール時間
12kmコース	2コース合計	小千谷市 総合体育館	午前8時30分～9時	午後2時まで
8kmコース	300人			
わくわくコース (3.5kmコース)	300人		午前9時30分～10時	

※スタート受付でゼッケンの確認後、随時出発していただきます。

- ◆参加料 大人600円、小・中学生400円、未就学児無料
- ◆申込方法 9月1日（金）午前9時から、総合体育館窓口・インターネット・郵送で受け付けます。要項・申込書は、総合体育館窓口にて備え付けてあるほか、市ホームページからもダウンロードできます。
※大会当日の申込みはできません。
- ◆申込締切 インターネット・郵送申込／9月28日（木）
窓口申込／10月7日（土）
- ◆参加特典 申込者全員に大会オリジナルレジバッグプレゼント
窓口申込者先着100人に、錦鯉カードプレゼント
- ◆ゴール特典 ミネラルウォーター・市内菓子店スイーツプレゼント
市内施設割引入館等
- ◆主 催 小千谷トリム・ウォーキング大会実行委員会

その他詳細は添付の要項をご覧ください。

令和5年8月22日

報道機関 各位



新潟県小千谷市役所
小千谷市城内2丁目7番5号

洪水発生時初期対応訓練を実施

小千谷市では、信濃川出水時の一級河川茶郷川樋門操作及び関係機関との連絡、連携体制を確認し、出水時のスムーズな出動体制移行を図ることを目的に、令和元年に発生した台風第19号の教訓を活かした訓練を行います。

■洪水発生時初期対応訓練

- ◆日時 9月27日(水)午後1時30分～3時30分(予定)
- ◆訓練場所 茶郷川樋門(三仏生地内小千谷大橋西詰付近)
市役所(建設課)ほか
- ◆訓練内容 情報伝達訓練、排水ポンプ車・照明車配置訓練、茶郷川樋門操作模擬訓練
- ◆主な実施方法
 - ・小千谷市建設課と樋門操作現場との無線連絡による樋門操作及び排水ポンプ車による茶郷川から信濃川への排水を実施する。
 - ・樋門操作訓練は、信濃川逆流時の樋門全閉から通常の全開に戻すまでの一連操作の模擬訓練とする。
- ◆訓練参加者 小千谷市、国土交通省信濃川河川事務所越路出張所、新潟県長岡地域振興局小千谷維持管理事務所、信濃川左岸土地改良区、農林水産省信濃川左岸流域農業水利事業所
- ◆その他 小雨の場合は実施する予定です。

本件に関するお問い合わせ先/小千谷市建設課管理克雪係 担当/山田・佐藤(公)

TEL: 0258-83-3514 FAX: 0258-83-2789 E-mail: kensetu-kr@city.ojiya.niigata.jp